

わーでかー！



「これは、バスリコーダーです」

初めてのリコーダー

四月二十八日に、三年生が、リコーダー専門家の本田先生を迎えて初めてのリコーダーの勉強を体育館でしました。はじめに、色々なリコーダーを見せてもらいました。小さなオモチャのようなリコーダーからメートルほどあるリコーダーまで。紹介されるたびに「でかー」とか「ちいさー」の歓声が上がりました。どんな音がでるかな？と一つ一つのリコーダーで曲を吹いていただきました。大きいほど低い音が出ました。

理科の学習は、三年生からです。春の陽ざしの中、校庭に咲く春の草花を見つけ、一生懸命スケッチして見ました。

なすな ヘンペン草(すぎな オオイヌフグリ) カタバミ タンポポ など
 たくさん野草がありました。

ところで、灰塚小の校章は、かたばみの葉一を圖案化したものです。強い子「正しい子」豊かな子「三葉に託しました。」

春の校庭

先生！できたよ！



「すくすく
 おもしろいな」



1年生 学校探検

2年生のお兄さん・お姉さんに手を引かれ学校探検です。



↑
 「ここが体育館です。」

← 「ここは保健室。」
 「けがや熱が出たときにきます。わかりましたか？」

シリーズ 校長先生の

子育てに「一言」(2)

『弱い心を育てる？』

徳川家康は、今川義元の人質として幼少の頃を過ごしていますが、義元は、部下に大質の子どもは、大切に扱わなければならぬ。理派な館に住ませ、冬は厚い布団とたくさん衣服を置き、夏は涼しくして、絹の上等な衣服を着させ、たくさんのご馳走を与えなさい。つらいことや寂しい思いをさせてはならず、菓子や玩具などほしがれるものは何でも与えなさい」と。一見優しく思いやりのある態度に見えますが、その裏には、家康をできるだけ軟弱な人間に育てることを命じていたのです。家康は、この誘惑に負けず心を鍛え、その後色々なつらいことに堪え忍んで四十年後に江戸幕府を開きました。みなさんはこの話をどう受け止めるでしょうか。

見守り隊のみなさん ごくろうさまです。



四條畷警察署長さんが
激励にきました。

灰塚小学校の子どもたちの下校の安全を見守ってくださいという見守りたいのみなさんを、四條畷警察の仲井清 新署長さんが激励に来ました。学校管理員さんや北灰塚区長の北野さんはじめ十数人の見守りたいの活動を熱心に見て回り、見守りたいのみなさん、ご苦勞様ですと声をかけていました。下校中の子どもたちの質問にも笑顔で答えていました。

いつもありがとうございます

家庭訪問 ありがとうございました。

お忙しい中、家庭訪問の時間をつくっていただき、ありがとうございました。お子様のことでご心配ごとがありましたらいつでも相談に乗りますので、今後ともよろしくお願いします。



土曜日に数件の農家の人が集まって苗床を作ります。



お家の人も一緒に見学

五年生 米作り見学

四月二十六日の土曜日に、五年生の希望者によるもみまき一見学を行いました。五年生では、米作りについて学習していきますが、近年、灰塚小学校区では、米作りをされている家が非常に少なくなっています。毎年灰塚五丁目の田中さんのご協力を得て米作りの体験学習を行っています。田植えや稲刈りは、無理をお願いして、子どもたちが学習できる平日にしようとしています。